



第17回まちだ男女平等フェスティバル開催！2月4・5日

テーマ **「働く、生きる、私らしく」**

2日間の参加者は のべ 2,500 人を超えました！

昨年7月、男女平等推進センター登録団体(47団体)を中心に実行委員会を立ち上げ準備を進め、当日は、実行委員会企画7、登録団体企画17、協賛企画4を開催しました。登録団体の趣向をこらしたパネル展示も好評で、のべ2,500人を超える参加を得て盛況のうちに終了。その一部を紹介します。

<実行委員会企画>

<メイン企画>

**「わたしはわたし」を生きて—
だれも知らない「らいてうさん」を語る**



講師：米田佐代子さん
(らいてう研究家)

「元始女性は太陽だった」で有名な平塚らいてう。強い女性のイメージですが意外にも人前に出るのが苦手なはにかみ屋だったそうです。ただ誰よりも「好奇心いっぱい」「思ったことは必ずやってみる」「後ろを振り向かない」「頼るものは自分一人の力だけ」「激しく欲求することが事実を産む」「行きつくところまで行ってみよう」と、世間の非難に屈することなく潔く生きた人でした。抑圧されていた女性の人間としての尊厳、女性の持つ無限の能力を信じ、戦後は「私の敵は戦争です。ただ戦争だけが敵なのです」「参政権を持った女性たちには平和に対する責任があります」「憲法9条は日本の誇り。あくまで憲法を守らなければならないと覚悟しています」と平和を強く願い行動した人でした。(講演内容より)



**“底点”の人々と共に生きて
～女性保護施設「かにた婦人の村」の精神～**

不遇な女性に寄り添い続け 90歳を迎えた天羽道子さんの言葉は信念と慈愛に満ち、静かな中に力強さを感じました。

多様な性～ありのままの 自分で生きる～

中野区議・石坂わたるさんと母親ももさんより、彼の生い立ちや中野区のセクシャルマイノリティ施策について聞きました。



多様な働き方を考える&体験 健康寿命を延ばす体操事業

小柳智恵さん小川葉子さんを講師に、ワーカーズコレクティブという雇われない働き方について学び、後半は健康体操で体をほぐしてスッキリ！

<登録団体企画>

お父さんの軽食喫茶室



安全に楽しく山登りをするために



上野千鶴子さんと語ろう



若い世代に伝える 登戸研究所



報告

「女性のための就職準備セミナー」

2017年2月14日、「女性のための再就職支援セミナー 面接から就業まで 押さえておきたいビジネスマナー」を実施しました。

今回は、すぐに実践してもらえよう、第1部で面接時のマナー（身だしなみ、姿勢、話し方）や就業後に必要なビジネスマナー（名刺交換、電話対応）について学び、第2部で模擬面接の練習を行いました。

セミナー終了後、「長いブランクがありましたが、就職の準備に向けて良い機会になりました」「なかなか面接対策の機会がないので、とても嬉しかったです」といった感想が寄せられました。また、「保育つきの講座は大変ありがたいです」という声も。

男女平等推進センターでは、子育て中の方々にも積極的に講座に参加してもらえよう、**開催する事業全てに保育をご用意しています。**

今後も、就職支援に関する講座、子育て中の方が参加しやすい講座づくりを目指します。

男女平等推進センターの 登録団体になりませんか？

男女平等推進センターでは「男女平等推進に関する活動をする団体、グループ」を援助するために団体登録を行っています。

1. 登録をするための主な要件

- ◆団体の目的が「男女平等推進に関する活動」であること
- ◆代表者が市内に住所を有し、継続的に市内で活動していること
- ◆政治活動、宗教活動、営利活動を目的としないこと

2. 申請方法

団体登録をする場合には「団体登録申請書」などが必要です。

***くわしくは男女平等推進センターまでどうぞ**

シネマでトーク

素敵な映画をみて、あれこれ

楽しく話ませんか！

無料

場所：フォーラム3階 **活動室**

***4月11日(火) 14:00~**

「西の魔女が死んだ」2008年

(日本) 115分 中学生のまいは

不登校になり、おばあちゃんの住む田舎で過ごすことに。イギリス人のおばあちゃんは、西の魔女と呼ばれていた。まいはおばあちゃんから魔女の手ほどきを受け、何でも自分で決めることを教わる。

***5月9日(火) 14:00~**

「ミス・ポター」2006年(米・英)

93分 ピーターラビットの生みの親のポターの波乱に満ちた半生を描いた感動のヒューマン・ドラマ。運命の出会いを果たした編集者と世界的名作を生み出すポターの逸話を2人の恋愛を絡めて描く。

***6月13日(火) 14:00~**

「素足の1500マイル」2002年(濠)

94分 1931年オーストラリアでは先住民アボリジニの混血児たちを家族から隔離する政策がとられていた。収容所に連れ去られた少女3人は、母の待つ故郷へ帰るため、2400キロに及ぶ行路を縦断するフェンスだけをたよりに歩き続けた。

新刊のお知らせ

センターでは、図書の出貸や

DVD・ビデオの視聴ができます！

「ルポ 貧困女子」

著者 飯島 裕子 (岩波新書)

2000年代に入り、若者の非正規労働や貧困問題が深刻な社会問題として認識されるようになった。しかし、女性の貧困については語られることが少ない。女性の非正規雇用率は4.2%(2012年)で男性の1.5倍もあるのに。作者は「これはなぜだろう？」という疑問から47人のシングル若年女性に細やかなインタビューをしている。そして、彼女たちの生きにくさは決して自己責任などではなく、誰しもちよつとしたことで貧困状態に陥ってしまうことを知る。一方、2015年には「女性活躍推進法」も成立し、バリバリ仕事をして管理職につく女性も少しずつ増えている。(男並みに働くことを求められ過労死する女性も出てきた。)女性間の分断が進み、女性同士でもつながらず、それは容易でなくなった。最後に作者は女性が貧困から脱する一つの方法を提示している。是非、ご一読を。

(O)

「女性悩みごと相談」 電話番号：042-721-4842

☆女性のための身近な相談室として、電話による相談を受けています。

DVやセクハラ、夫婦間問題など一人で悩まないで相談してみませんか。

相談時間…月・火・木・金・土曜日 9:30~16:00

水(第3水曜日を除く) 13:00~20:00

(日・祝日、年末年始はお休みです)



「法律相談」 予約は「女性悩みごと相談」にて受け付けます。

☆女性弁護士が担当します。

相談日：毎月第2・第4 木曜日 14:00~16:00

※祝日の場合はお休みです。

